オカヤドカリを飼育するために。。。

沖縄で暮らしていたので、寒いのが苦手です！
必ず、秋～冬にはヒーターをつけてくださいね。

温度・湿度計は必需品です。
最適飼育環境は

温度 22-28 度 / 湿度 60-80%
オカヤドカリさんは、
エラ呼吸をしているので乾燥と寒いのは苦手です。
25 度以下になりましたらヒーターのご準備を。
湿度が低い場合はフタは、閉めて
霧吹き等で加湿してください。

ヤドカリさんは
フタを開けるのが
大好き！
フタがしっかりした
飼育ケースを
ご用意ください。
このケースには、
鍵がついています。

自然界では、
木、草むらなど
ひっそり暮らしています。
幸福の樹ガジュマルは
大人気♪
流木などを用意して
あげるといいかも？

水入れは
ざらざらしてヤドカリさんが
歩きやすく登りやすいものが
おすすめです。

サンゴ砂は
ヤドカリさんの
貝殻の３倍の高さは、
用意してください。

餌皿があると
サンゴ砂を汚しにくいので
便利ですよ。

ミナミトビハゼも
いっしょに飼育できるのが
魅力ですね。♪

オカヤドカリさんは、
生きていく上で、お水は大切です。
貝殻の中に海水と真水の混ざった汽水をためこんでいて
それが乾くと、海に水分補給しに行く暮らしぶりです。
（水に食塩を溶かした塩水（しおみず）で代用することはできません。）
できるだけ、オカヤドカリさんの大きさにあわせて
体がつかれる大きさのお水入れを
用意してあげてください。
飼育ケースが大きい場合は、
お水入れと汽水（海水の薄い濃度）を
用意してあげましょう。小さい飼育ケースの場合は、
日替わりで汽水・カルキ抜きしたお水を
用意してあげましょう。
ときどき、25 度（飼育ゲージに合わせた水温）
ぐらいの海水につけてあげると
乾燥予防にいいと思われます。

↑人工海水の素で
海の水がつくれます。

上記の飼育方法の場合、２週間ぐらいで、臭いがあれば、お米をとぐようにして、お砂を洗い、天日干ししてください。脱皮中のヤドカリさんがいたら待ってみてね。
←お砂を洗いたくない方は左記のような飼育方法もあります。
ポンプでまわせば、まるで海みたい！
この水槽は、幅 40cm, 小さな海を実現できた飼育例です。
飼育用品：ミニボックス（コトブキ）、底面フィルター 450（コトブキ）
ミニ水中ヒーター（エヴァリス）、シングルエアーポンプ 101
海水の素、バクテリア

ヤドカリさんの食事

自然界では、海岸に打ち上げられたお魚や植物などを
食べています。雑食性ですので、人間が食べるもので、
食品添加物が入っていない野菜や、果物などでしたら
大丈夫ですよ。一度に食べる量は少ないので、餌を食べ
ないからと心配する事はないのですが
よく食べる、ポップコーンのみで飼育すると脱皮の失
敗につながるので、いろいろな餌を用意してあげて
ください。栄養をとっているオカヤドカリさんは、
脱皮を繰り返し、成長する事ができます。
同じ餌ばかりだと、飽きてしまい残す癖があるようです。
生き物は、個体により好みも違います。
自分のヤドカリさんの好きな食べ物を
探すのも楽しいかも？

←オヤカドカリ研究に
歴史がある
フロリダ・マリン・リサーチ社
オカヤドカリ専用フード
小さいヤドカリさんには
トリートがおすすめ♪

↑
2015 年現在、ヤドカリ専用ゼリーは
５種類販売されております。

↑
ヤドカリさんに一番人気のポップコーン
ヤドカリの主食

脱皮は、命がけなんです！１匹飼いが一番飼育成功の近道なのですが。。
かわいいヤドカリさんは、数匹いっしょに飼いたい方が多いです。
見つける事ができましたら、脱皮しているヤドカリさんを、個室に入れてあげてください。
狭くても大丈夫です。汽水をスプレーして、決して、乾かないようにしてあげてください。
待つのみです。

オカヤドカリの脱皮について↑
脱皮殻は、栄養にしますのでしばらくは、
取り除かないようにしてくださいね。
脱皮前、脱皮後は、
あまり餌を食べなくなります。
心配されないように。。
脱皮成功の秘訣は、
普段からの栄養のとり方と言われています。
ポップコーンが大好きですが
自然界では、砂浜にあるお魚や植物を食べています。
栄養がかたよらないように
いろいろな餌をあげてくださいね。